This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

09-179912

(43)Date of publication of application: 11.07.1997

(51)Int.CI.

G06F 17/60

(21)Application number: 07-340941

(71)Applicant: HITACHI LTD

(22)Date of filing:

27.12.1995

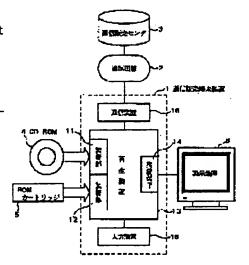
(72)Inventor: MIURA JUN

OKI MASAFUMI

(54) MAIL-ORDER SALE TERMINAL EQUIPMENT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To simplify the procedure for ordering an article that a user follows. SOLUTION: In the mail-order sale terminal equipment 1, a reproducing device 13 reads out article catalog information as information regarding an article to be sold out of a CD-ROM 4 and displays it on a display device 6. Further, connection information as information needed to make a connection with a mailorder sale center 3 through a communication line 2 and user identification information as information needed to discriminate specific user information as the mail-order sale center 3 are read out of a ROM cartridge 5; and a communication device 16 is controlled by using the connection information so as to make the connection with the mail-order sale center 3, and the communication device 16 is further controlled as to transmit the user identification information and ordered article information being information regarding the article that the user has ordered through an input device 15.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

Date of sending the examiner's decision of rejection]

Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

資料2号

(19)日本国特許庁(J P)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出職公開書号

特開平9-179912

(43)公開日 平成9年(1997)7月11日

(51) IntCL*

G06F 17/60

識別配号

庁内整理番号

FΙ

G 0 8 F 15/21

技術表示箇所

2 3102 350

(A) 10000640001

審査請求 未越求 請求項の数7 OL (全28 頁)

(21) 出票書号

特膜平7-340941

(22)出期日

半成7年(1965)12月27日

(71)出職人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目 6 香地

(72) 発明者 三糖 美

神奈川県横浜市戸郷区吉田町292番地 株式会社日立製作所マルチメディアシステム

式会社日立要作所マルチメディアシステル

開発本部内

(72)発明者 大本 穩史

神奈川県構設市戸塚区古田町292番地 株

式会社日立製作所マルチメディアシステム

開発本部内

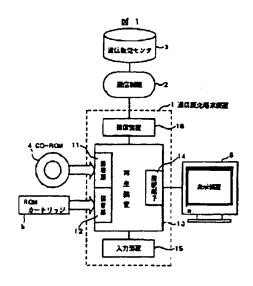
(74)代理人 弁理士 宮田 和子

(54) 【発明の名称】 通信販売増末装置

(57)【要約】

【課題】複数の利用者ごとに、該利用者に関する情報である利用者情報を記憶保持している通信販売センタに、通信回線を介して開島を注文する通信販売端末装置において、利用者が行う商品の注文予順を開業化させる。

【解決手段】通信販売檔案装置1において、出生装置1 3は、販売対象の商品に関する情報である商品カタログ 情報をCD-ROM4から謎み出して表示装置6に表示 する。また、通信販売センタ3との間を通信回顧2を介 して接続するために必要な情報である接続情報と、通信 販売センタ3が特定の利用者情報を識別するために必要 な情報である利用者識別情報とをROMカートリッジ5 から通か出し、該接続情報を削いて通信販売センタ3と の間を接続するよう、通信装置16を制御すると共に、 該利用者識別情報と、利用書が入力装置15から社交損 示を入力した原面に関する作品であるほ文書品情報とを 通信販売センタ3に送信するよう、通信装置16を制御 する。



【特許請求の命序】

【請求項1】所定の複数の利用者ごとに、該利用者に関する情報である利用者情報を記憶保持している通信販売 センタに、通信回線を介して商品を企文する通信販売場 米装置であって、

商品の住文指示の入力を受付ける入力装置と、 少なくとも1つの記憶媒体を改着可能な装着部と、 表示装置を接続可能な接続選手と、

上記通信販売センタとの間を通信回線を介して接続する 通信装置と、

上記袋客部に装着された記憶媒体に記憶されている。販売対象の商品に関する情報である商品カタログ情報、上記通信販売センタが特定の利用者情報を観測するために必要な情報である利用者識別情報、および、上記通信販売センタとの間を通信回線を介して複数するために必要な情報である技術情報を読み出す事件装置とを備え、上記事事事費は、

読み出した商品カタログ情報を、上記接続端子に接続された表示装置に表示する手段と、

統み出した接続情報を用いて、上記通信収売センタとの 間を通信回線を介して接続するよう、上記通信装置を制 調する手段と、

読み出した利用者識別情報、および、上記入力装置が許 文治示の入力を受付けた商品に関する情報である注文商品情報を、上記通信製売センタに送信するよう。上記通信製売センタに送信するよう。上記通信装置を制御する手段とを有することを特徴とする通信販売端本装置。

【請求項2】請求項1 記載の通信販売端本装置におい
.・

上記抜着部に装着される記憶媒件は、

上記的品次タログ情報が記憶されているCD-ROMと、上記利用者識別情報が記憶されている。上記CD ROMとは別の記憶媒体との2つの記憶媒体であり、

ト記接続情報は、上記2つの配信集体のうちのいずれか 一方に記憶されていることを特徴とする通信販売場本数 置。

【請求項3】請求項1記数の通信販売線未装置におい 一

上記装者等に残着される記憶鉄体は、

上記商品カタッグ情報が記憶されている。誘わ出し専用の第1の記憶領域と、上記利用者贏別情報および上記接続情報が記憶されている。1度だけ書き込みが可能な算2の記憶技術とからなる光ディスクであることを特徴とする通信的主義主義選。

【註:水崎4】所定の映象の利用者でとは、投利用者に関 する情報である利用者情報を記憶保持している通信販売 センタに、適信回線を介して商品を让文する通信販売端 未保護であって、

商品の注文指示の人力を受付ける人力装置と、 少なくとも1つの記憶媒体を装着可能な基金部と、 表示装置を接続可能な接続端子と、

上記通信販売センタとの間を通信回線を介して接続する。 通信装置と、

上記通信販売センタが特定の利用者情報を識別するため に必要な情報である利用者識別情報、および、上記通信 販売センタとの間を通信回義を介して投稿するために必 要な情報である後戌情報が記憶されているROMと、 上記海養器に提着された配憶地体に記憶されている、版 思対象の商品に関する情報である商品カタログ情報を読

上記再生装置は、

み出す再生装置とを備え、

語が出した商品カタリグ情報を、上記法続場子に接続された表示時間に表示する手段と、

上記ROMに記憶されている接続情報を用いて、上記面信販売センクとの間を通信回線を介して接続するよう、 上記通信装置を制御する手段と、

上記ROMに記憶されている利用者識別情報、および、 上記入力装置が往文様示の入力を受付けた商品に関する 情報である往文商品情報を、上記通信販売センタに送信 するよう、上記通信装置を制御する手段とを有すること を特徴とする通信販売端末装置。

【請求項5】 所定の複数の利用者ごとに、該利用者に関 する情報である利用者情報を記憶保持している通信販売 センタに、通信回導を介して商品を建立する通信販売場 未獲置であって、

商品の注文指示の入力を受付ける入力報告と、

少なくとも1つの配換媒体を養着可能な装着部と、

表示装置を接続可能な接続端下と、

上記通常販売センタとの間を通信回線を介して接続する 通信修書と

記通信販売センタが特定の利用者情報を確認するために 必要な情報である利用者識別情報、および、上記通信販 光センタとの間を通信回線を介して接続するために必要 な情報である接続情報が、上記通信販売センタから返信 されて書き込まれることによって記憶されている不輝発 性メモリと、

上記奏者無に装合された記憶媒体に記憶されている。販売対象の商品に関する情報である商品のタログ情報を設み出す再生接近とを備え、

上起再生装置は、

読み出した商品カタング情報を、上記伝統場下に接続された表示装置に表示する手段と、

上記不確発性メモリに記憶されている接近情報を用い て、上記通信販売センクとの間を通信回廠を介して接続 するよう、上記通信装置を制御する手鉄と、

上記不堪発性メモリに記憶されている利用者識別情報。 および、上記入力装置が住実指示の入力を受付けた商品 に関する情報である江文部品情報を、三部通信販売センタに送出するよう。上記通信保証を制御する手段とをも することを特徴とする通信販売端末装置。 【請求項6】所定の複数の利用者ごとは、採利用者に関 する情報である利用者情報を応憶保持している通信販売 センタに、通信回線を介して所品を注文する通信販売場 未変数であって、

商品の注文指示の入力を受付ける入力装置と、

少なくとも1つの配領媒体を携着可能な装着部と、 表示装置を接続可能な接続端子と、

上記通常販売センタミの間を通信回線を介して接続する 通信装置と、

上記頭信販売センタが特定の利用を指摘を識別するため に必要な情報である利用普識別情報が、上記頭信販売センタから送信されて書き込まれることによって記憶され ている不優発性メモリン。

上記装着的に接着された記憶媒体に記憶されている。販売対象の商品に関する情報である商品カタレデ情報、および、上記通信販売センタとの間を通信回線を介して接続するために必要な情報である接続情報を読み出す再生。 装置とを備え。

上記再生装置法、

読み出した商品カタログ情報を、上記接続場子に接続された表示装置に表示する手段と、

読み出した接続情報を用いて、上記通信販売センタとの 間を通信回線を介して接続するよう、上記通信装置を制 額する手当と

上記不準整性メモリに記憶されている利用者識別情報、 および、上記入力装置が住文指示の入力を受付けた商品 に関する情報である往文商品情報を、上記通信販売センタに送信するよう、ト記通信装置を制御する手段とを有 することを特徴とする通信販売送来装置。

【訴求項子】所定の複数の利用をごとに、該利用者に関する情報である利用者情報を記憶保持している近に販売センタに、通信回導を介して商品を注文するゲース機であって

商品の注文指示の人力を受付ける入力装置と、

少なくとも1つの記憶媒体を挟着可能な装着部と、

表示波響を接続可能な接続端下と、

上記数者部に装着された記憶媒体に記憶されているプログラムを読み出して支行する再生装置とを導え、

上起再生被置位、

貌み出したプログラムを実行することで、

上記抜者がに接着された記価機体に上記プログラムと共 に記憶されている。販売対象の商品に関する情報である 商品カギログ情報を認み出し、援み出した商品カクログ 情報を上記接続端子に接続された表示装置に表示する処 理と、

上記憶要部に接着された記憶媒体に上記プログラムと共 に記憶されている。上記通信販売センタとの間を通信回 地を介して接続するために必要が情報である接続情報を 彼み出し、読み出した接続性限を用いて、上記通信販売 センクとの間を通信回義を介して接続する時間と、 ・配接者部に装着された記憶機体に上記プログラムと共に記憶されている。上記通信販売センタが特定の利用者情報を探別するために必要な情報である利用者識別情報を読み出し、読み出した利用者識別情報、および、上記入力装置が注文指示の人力を受付けた商品に関する情報である正文商品情報を、上記通信販売センタに達信する必要とを実現することを搭載とするゲース機。

【光度の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本格別は、通信販売センタに 通信回線を介して商品を洗文する通信販売端末装置に関 する。

100021

【従来の技術】現在、底品カタログによって利用者に商品を採文させ、利用者が別文した商品を終利用者の自宅等に配達するという商品の表元方法である。通信販売が普及している。

【0003】 このような通信販売において、利用者は、通信販売業者から提供される商品カクログを見て、注文したい商品がある場合には、該商品を注文するために必要な情報である行文情報を、電話、ファクシミリ、郵便等で、通信販売業者に通知するようになっている。

【0004】なお、注文情報は、例えば、商品に固有に付与されている商品コード等の、注文する商品に関する情報である主文首品情報と、例えば、利用者の位所。氏を、電話番号等の、商品を注文する利用者に関する情報である利用者情報とからなるものである。なお、利用者が商品の代金をクレジットカードで支払う場合には、利用者が所提するクレジットカードのカード番号が含まれる必要がある。

【0005】また、最近では、パソコン通信を利用した 通信販売も普及しつつある。

【0006】パソコン通信を利用した通信販売において、利用者は、電話目標を利用したパソコン通信によって一般のNET局にアクセスし、アクセス光から提供される前品カタログ情報を見て、建文したい値品がある違合には、鉄朗品を建文するために必要な情報である注文情報を、アクセス先に送信するようになっている。このとき、利用者は、パソコンに設けられたキーボードから注文情報を入力するようになっている。なお、利用者は、パソコンに設けられたキーボードからきりは、NET局にアクセスするために必要な電話番号等の接続情報を、パソコンに設けられたキーボードからきりに入力する必要がある。

【0007】さらに、特徴平3-105496号公舗に 記載されているように、通信販売センタに通信回線を介 して商品を行文するための専用の端末装置である「通信 販売端末装置」が考案されている。

【0008】この通信販売端末装置は、CD-ROM再 生装置と、ディスプレイと、キーボードとを構え、CD --ROM再供装置が、CD-ROMに記憶されている食 品カタログ情報を再生してディスプレイに要示するようになっている。そこで、利用者は、ディスプレイに要示された商品カタログ情報を見て、作文したい商品がある場合には、該商品を注文するために必要な情報である证文情報を、キーボードから入力するようになっている。 【0009】また、この通信販売装置は、クレジットカードのカード番号を読み取るための読取装置をさらに備え、利用者が入力した注文情報、および、確取装置が読み取ったカード番号を、通信販売センタに送信するようになっている。

01001

【を初が解決しようとする課題】 - 述したお品カタログを利用した通信販売においては、利用者が電話で作文技報を通信販売業者に通知することで商品を注文する場合は、利用者が注文情報を読み上げなければならないという項のしきがあり、また、利用者と電話を受付けた担当者との間で伝達ミスが生じるという危険性がある。また、利用者がファクシミリや郵便で注文情報を通信販売業者に通知することで商品を注文する場合は、利用者が注文情報を注文用紙に書き込まなければならないという頃のしきがあり、また、ファクシミリや郵便で通知した住文情報が確実に通知されたからかを利用者が判断することができないという不安がある。

【0011】また、上述したパソコン通信を利用した通信短元、および、上述した通信販売標末復置を利用した通信販売においては、人手を介さなくても寄むので、保達ミスが生じる危険性はないものの、利用者がキーボードから主文情報を入力しなければならないという類わしまがある。

【0012】特に、注文情報は、注文商品情報および科 用音情報からなることから、情報量が大さくなり上利用。 者の境わしさも大きくなる。

【0013】ところで、企文情報のうちの往文商品情報は、非文の都度、その内容が異なるものとなるが、注文 情等のうちの利用書情報は、特に利用者からの要議がない限り、その内容が変更されることはない。

【0014】チェマ、通信販売センタが、利用名信報を 経して記憶保持しておくようにすれば、利用者は、注 大の都度、自身の利用者情報を通知しなくても、自身の 利用名信題を適別するために必要な信頼のみや通知する。 経済わじうになる。

【0015】本発明の目的は、上述した点に著目し、適 に仮だセンクに通信回線を介して商品を注文する通信服 売端末装置において、利用者が行う商品の注文手順を修 責化することにある。

[0016]

【議選を解決するための手段】一記目的を達成するため に、本発明は、所定の複数の利用者ごとに、該利用者に 関でる情報である利用者情報を記憶保持している通信販 港ビンタに、通信回議を介してみ品を注文する通信販売 湖末装置であって、(1) 関品の建文指示の入力を受付ける入力装置、(2) 少なくとも1つの配徳維体を集着可能な装着路。(3) 表示装置を接続可能な接続場子。(4) 上記語活販売センタとの間を通信回線を介して接続する通信装置、(5) 上記語を第に決着された記憶は体に記憶されている。販売対象の商品に関する情報である商品カタログ情報、上記通信販売センタが特定の利用者構成を裁別するために必要な情報である資程情報を認り情報、および、上記通信販売センタとの間を通信回機を介して接続するために必要な情報である資程情報を認み出

【0017】そして、上配再生装置は、(ア) 読み出した商品カタログ情報を、上記接続端子に接続された要示 装置に表示する手段、(イ) 読み出した接続情報を用いて、上記時信販売センタとの間を通信回題を介して接続するよう、上記通信装置を制御する手段、(ウ) 読み出した利用者識別情報、および、上記入力装置が注文評ポの人力を受付けた関品に関する情報である注文開品情報を、上記通信販売センタに送信するよう。上記通信販売を制御する手段、を有するようにしている。

す再生装置、空間えるようにしている。

【0018】また、上記目的を連成するために、本意明 は、所定の複数の利用者ごとに、該利用者に関する情報 でもの利用者情報を記憶保持している通信販売センタ に、通信回線を介して商品を注文する通信販売端末装置 であって、(1)商品の注文指示の人力を受付ける入力 波徹、 (2) 少なくとも1つの記憶媒体を供着可能な要 着部、(3)表示波響を接続可能な接続端子、(4)上 記通信販売センタとの間を通信回額を介して接続する通 信装置、(5) 三記通信販売センタが特定の利用者情報 を推測するために必要な情報である利用者識別情報、お よび、上記通信販売センタとの間を通信回線を介して接 続するために必要な情報である接続情報が配送されてい るROM、(6) 山配及着的に装着された部格供体に配 他されている、販売対象の商品に関する情報である商品 カタコブ情報を読み出す再生装置、を鍛えるようにして いる。

【0019】そして、上記再生安置は、(ア)読み出した商品をタログ情報を、上記接続端子に検続された表示 時間に表示する手段、(イ)上記ROMに記憶されている接続情報を用いて、上記通信販売センタとの間を通信 回線を介して検続するよう、上記通信携御を制御する手段、(ウ)上記ROMに記憶されている利用者識別信報、および、上記人力被関が注文指示の入力を受付けた 商品に関する情報である注文所品情報を、上記通信販売センタに送信するよう、上記通信装置を制御する手段、を有するようにしてる。

【10020】また、上記目的を達成するために、本化時代、所定の後数の利用者ごとに、認利用者に関する情報である利用者情報を記憶は持している通信販売センタに、通信回線を介して商品を応収する通信販売端末装置

であって、(1)前品の建文指示の人力を受付ける入力 装置、(2)少なくとも1つの記憶媒体を装着可能な接 着部、(3)要示装置を接続可能な接続端子、(4)と 記通信販売センタとの間を通信回線を介して接続する通 信装置、(5)配通信販売センタが特定の利用者機引 設別するために必要な情報である利用者識別情報、およ び、上記通信販売センタとの関を通信回線を介して接続 するために必要な情報である接続情報が、上記通信販売 センタから透信されて書き込まれることによって記憶されている不理発性メモリ、(6)上記装着部に装着され た記憶媒体に記憶されている、販売対象の商品に関する 情報である商品カタコグ情報を読み出す再生装置、を備 えるようにしている。

【0.0.2.1】そして、上記将生装置は、(ア)読み出した商品カタログ情報を、上記接続編手に接続された表示装置に表示する手段、(イ)上記不確発性メモリに記憶されている技能情報を用いて、上記通信販売センタとの問き通信回線を介して接続するよう、上記通信装置を制御する手段、(ウ)上記不揮発性メモリに記憶されている利用者無別情報、および、上記入力装置が注文指示の人力を受付けた商品に開する情報である注文商品情報を、上記通信販売センタに送信するよう、上記通信装置を制配する手段、を有するようにしている。

【0022】また、上記目的を達成するために、木発明 は、所述の複数の利用者ごとに、数利用者に関する情報 である利用者情報を記憶保持している通信販売センタ ド、 連信回線を介して商品を圧文する通信販売端末装置 であって、(1)商品の注文指示の入力を受付ける入力 装置、(2)少なくとも1つの配施媒体を装着可能な装 着部、(3)表示装置を接続可能な接続期子、(4)上 記通信販売センタとの間を並信回線を介して接続する通 信装置、(5)上記通信販売センタが特定の利用目情報 を識別するために必要な情報である利用者職別情報が、 上記通信販売センタから送信されて書き込まれることに よって記憶されている不解発性メモリ、 (6) 上足装着 部に決着された記憶維体に記憶されている、販売対象の 商品に関する情報である商品カタログ情報、および、上 記述信販売センタとの間を通信回線を介して接続するた 的に必要な情報である接続情報を読み出す再生装置、を 備えるようにしている。

10023] そして、上記再生装置は、(ア)競み出した商品カタログ情報を、上記機機構子に接続された表示 実置に表示する手段。(子)認み出した接続情報を用いて、上記通信数更テンタとの間を通信回線を介して接続するよう、上記通信装置を制御する手段。(ウ)上記不審発性メモリに配憶されている利用者識別検知、および、上記人力装置が正文情系の入力を受付けた商品に関する情報である主文商品情報を、上記通信販売センタに送ばするよう。一記通信要置を制御する手段、を有するようにしている。 [0024]

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

【0025】まず、本発明の通信販売増末装置の第1の 実施服態について、図1~図6を用いて説明する。

【0027】図中、1は通信販売第末装置、2は通信回 源、3は通信販売センタ、4はCD-ROM、5はRO Mカートリッジ、6は表示装置である。

【0028】通信販売センタ3は、所生の複数の利用者 ごとに、該利用者に関する情報である利用者情報を記憶 保持している。

【0029】ここで、利用を情報は、例えば、利用者の 住所、爪名、電話番号、クレジットカードのカード替 う、銀行の口座番号等を表す各種情報であるようにする ことができる。

【0030】第1の実施形態においては、(1) 販売対象の商品に関する情報である商品カタログ情報が記憶されているCD-ROM4、(2)通信販売センタ3が特定の利用者情報を識別するために必要な情報である利用者識別情報と、通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続するために必要な情報である接続情報とが記憶されているROMカートリッジ5、の2つの証度媒体を用いるようにしている。

【0031】ここで、商品カタログ情報は、例えば、商品の外域を表す情報(静止両データや動画データ)、商品の説明を表す情報(音声データやケキストデータ)、商品に固有に付与されている商品コード情報(デキストデータ)等であるようにすることができる。

[0032]また、<u>利用名敵別首集は、佐えば、利用者</u> に固有に付与されている利用者コード情報であるように することができる。

【0033】また、検統債報は、決えば、通信販売センク3の起記番号を表す情報であるようにすることができる。

【0034】そこで、図1に示すように、通信販売端本 装置1/は、CD ROM4を装着の能なCD-ROM装 増部11と、ROMカートリッジのを接着可能なROM カートリッジ装着部12とを備えるようになっている。 【0035】なお、CD-ROM4およびROMカート リッジのは、共に、通信販売業者から利用者に提供され

るようになっている。

【0036】詳しくは、新品カタログ情報は、全ての利用者に共通する内容であるので、通信販売業者は、商品カタログ情報が更要されたときなどに、適宜、商品カタログ情報を記憶したCD-ROM1を利用者に提供する。また、利用者散別情報は、利用者ごとに異なる内容であるので、通信販売業者は、利用者との間で通信販売を実施する契約を交わして利用を背難を入手したとき

に、1度だけ、資利用者に関右に付与した利用者環別情報と接続情報とを記憶したROMカートリッジ5を、該利用者に提供する。なお、利用者が制造した場合など、利用者情報を変更する必要が年じた場合でも、通信販売センタ3が記憶保持している利用者情報を変更すればよく、利用者識別情報を変更する必要にないので、通信販売売業者は、ROMカートリッジ5を1度だけ利用者に提供さればより。

【0037】また、図1に示すように、通信販売端末装置1は、表示装置6を接続可能な接続場子142、商品のは支援示の入力を受付さる入力装置15と、通信販売センタ3との間を通信回顧2を介して接続する通信装置16とを備えている。

【0038】さらに、図1に示すように、連値販売結束 装置1は、CD ROM装者部11に接着されたCD-ROM4に記憶されている商品カタログ情報、並びに、 ROMカートリッジ装着部12に装着されたROMカートリッジ5に記憶されている利用音識別情報および接続 情報も読み出す再生装置13を備えている。

【0039】再生装置13は、詳しくは、CD ROM 装書部11に接着されたCD-ROM4から読み出した商品カタログ情報を、接続端子14に接続された要示装置6に表示する。また、ROMカートリッジ接着部12に装着されたROMカートリッジ5から謎み出した接続情報を用いて、通信装置16が通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続けるよう制御する。また、ROMカートリッジ接着部12に接着されたROMカートリッジ5から読み出した利用者強別情報、および、入り装置15が往実指示の入力を受付けた商品に関する情報である让文面品情報を、通信装置16か通信販化センタコに送信するよう制御する。

【0040】このように、通信配元標末装置1の動作 は、実際には、再生装置13の動作によって実現される ものである。

【0041】以下、再生装置13の動作について、図2 を用いて対明せる。

【0042】図2は阿生装置13の動作の流れを示すフェーチャートである。

【0040】なお、再生装置13は、内部に設けられたマイクロプロシッサがプログラムを実行することで、その動作を行うものである。マイクロプロシッサが実行するフログラムは、内部に設けられたプログラムROMに定議されているようにしてもよいし、CD ROMもおよびROMカートリッジ5のいずれか。方に記憶されているようにしてもよい。

【0044】利用者は、通信販売を利用する際に、まず、要示法遣6を接続選子しずに接続すると共に、通信 販売業者から提供されたCD-ROMはおよびROMカートリッジュを、各々、CD-ROM装置等しておよび ROMカートリッジ及資和12によ者し、通信販売端末 装着 1をお勧する。

【0045】 32に示すように、通信仮宏端末装置上が上記動されると、再年狭備13は、CD ROM装着部1 1に装着されたCD-ROM4から商品カタログ信用を設み出し、接続端子14に接続された表示特別6に表示するので(ステップ201)、利用者は、商品の注文情景を入力装置1っから入力することができる。

【0046】ここで、再生復憲13が商品カタログ情報を表示装置6に表示する様子、および、利用者が商品の 征文指示を入力装置15から入力する様子の一例について で3〜図6を用いて証明する。

【0047】なお、以下に説明する例では、再生装置13が、名用者が入力装置15から入力する指示分助けた。 段階的に、商品カタログ情報を表示装置 6 に表示するようになっているが、商品カタログ情報の表示方法や注文指示の入力方法は、これに限るものではない。

【0048】再生装置13は、上寸、図3に元十ように、商品の個別を表ナメニュー画面300を表示し、利用者は、ノニュー画面300において、所望の個別を選択さる首の指示を入力する。

【0049】図3では、利用者が「ビデオカメラ 301を選択する旨の指示を入力した場合を示している。

【0050】利用者が「ビデオカメラ」301を選択する旨の指示を入りすると、再生表置13は、図4に示すように、「ビデオカメラ」の商品名を表すカタログ画面400を表示し、利用者は、カタログ画面400において、所募の商品名を選択する旨の技术を入れまる。

【0051】図4では、利用者が「商品1」401を選択する旨の指示を入力した場合を示している。なお、利用者は、「メニュー: 402を選択する旨の指示を入力することで、図3にポサメニュー画面300に戻すことができる。

【0052】利用者が「商品1:401米運択する音の 指示を入力すると、再生装置13は、図5にポポよう に、「商品1」を紹介する商品紹介画面500を表示 し、利用者は、商品紹介画面500において、紹介されている商品を注文したい場合には、「購入金融」501 を選択する行の指示を入力する。

【0033】図5では、縮退格介面面500が、「商品1」の外部を表す静止面アータや動画データが表示される領域500と、商品の特徴、サイズ、価格を表すテキストデータが表示される領域500とから構成されるようになっている。なお、利用者は、「メニュー」504を選択する旨の増示を入力することで、図3に示けメニュー面面300に乗すことができる。

【0054】また、商品紹介画面300において、利用 どが「在文」505を選択する行の指示を入力すると、 単年装置13は、図6に示すように、それまでに「購入 市立 501を選択する行の指示が入りされた面晶名の、 一覧およびそれらの商品の合計変換を表すはより画面60

0を表示する。

【0055】なお、再生装置13は、江文画面600を 表示するためには、「購入需要」501を選択する旨の 指示が入力される度に、対応する商品名を食す情報を、 内部に設けられたメモリに記憶保持しておく必要がある。

【0056】利用者は、注文師並600の内容を確認し、「實行」604を選択する旨の指示を入力することで、商品の企業指示の入力を終了することができる。なお、利用者は、「メニュー」602を選択する旨の指示を入力することで、図3に示すメニュー曲面300に戻すことができる。

【0037】さて、同2に戻って、利用者が商品の征文 情示の入力を終了すると(ステップ202)、再生装置 13は、ROMカートリップ装着部12に装着されたR OMカートリップ3から接続情報を読み出す(ステップ 203)。

【0058】 補いて、再生装置13は、流み出した接続 情報を通信装置16に出力することで、該接続情報を用いて通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続 するよう、通信装置16を制御する(ステップ20 4)。

【0059】例えば、弦鏡博線が通信販売センタ3の電話番号を表す情報である場合には、通信装置10は、再生装置13から出力された接続清報が表す電話番号をダイヤルして通信販売センタ3に対して発明することで、通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続する。

【0060】 遠信販売セング3との物が通信回線2を介して接続されると、再生装置13は、ROMカートリッジ装着部12に装着されたROMカートリッジ5から利用者識別情報を確み出すと共に(ステップ2051、住文指示が人力された商品についての让文商品情報を作成する(ステップ206)。

【0061】ステップ206では、例えば、再生装置10は、CD-ROM装着部11点装着されたCD-ROM装着部11点装着されたCD-ROM4に記憶されている商品カクログ情報のうちから、は文指示が入力された商品に固有に付与されている商品コード情報(すなわち、「購入争望)501を選択する質の指示が入力される度にメモリに記憶保持しておいた商品名を表す情報に対応する商品コード情報)を提示出すことで、法文商品情報を作成することができる。

【0062】続いて、再生装置13は、ステップ205で読み出した利用養護引措制、および、ステップ206で作成した注文商品情報を、通信装置16に出力することで、これらの情報を通信回線2を介して通信販売センタ3に返信するよう。通信装置16を制御する(ステップ207)。

【6063】これにより、通信装置16は、再生装置1 3から出力された利用を裏別情報および注文網品情報 を、延信四線2を介して通信販売センタ3に活信するので、通信販売センタ3は、通信販売端末装置1から返信された利用者確息情報によって、当身が配益保険している利用者情報を特定し、商品を注文した利用者を識別することができる。また、通信販売センタ3は、通信販売端両装置1から送信されたす文商品情報によって、利用者が注文した商品を顧別することができる。...

【0064】なお、通信販売センタ3は、通信販売増末 装置)から通信された利用者識別信頼および企文符品情 報に基づいて利所した受注結果を、通信販売端末接置1 に返送することができる。

【0065】例えば、通信販売センタ3は、利用者が往 文した商品の納期を表すメッセージ情報を、受注結果と して返送することができる。また、例えば、利用者情報 が利用者の債人限度額を含むようにした場合に、利用者 が注文した商品の合計金額が課人限度額を超えたなら ば、その音を表すメッセージ情報を、受注結果として送 送することができる。

【0066】さて、通信販売湯本装置1においては、通信販売センタ3から返送された受法結果は、通信装置1 6によって受信されて再生装置13に出力される。

【0067】そこで、再生装置13は、通信装置16から受法結果が出力されると(ステップ208)、接受注結果を表示装置6に表示してから(ステップ209)、通信販売センタ3との間を接続している通信回線2を切断するよう、通信装置16を創御する(ステップ2150)

【0068】以上説明したように、本条明においては、 通信販売増末装置1は、利用者情報を記憶保持している 通信販売センタ3に通信回線2を介して商品を企文する 際に、接続情報を用いて通信販売センタ3との間を通信 回線2を介して接続すると共に、注文商品情報および利 用者機別情報を通信要売センタ3に送信するようによう にしている。

【0069】特に、利用普遍別情報および接続情報は、通信販売端来装置1に接着されるROMカートナッジ5に下め記憶されていることから、利用者は、往来問事情報の元となる注义進売を入力だけで、往来は入力する必要があった利用者情報を入力する必要がなくなり、接続情報も入力する必要がなくなる。

【0070】従って、不秘明によれば、利用者が行う商品の注文手順を確案化することが可能となる。

【0071】たお、上述した第1の実施影像においては、接続情報がROMか・トリッジ3に記憶されているようにしているが、CO-ROM4に記憶されているようにしてもよい。

【0072】また。上述した第1の実施形態においては、通信販売機未決置1が、利用者難別情報を、決文を は、通信販売機未決置1が、利用者難別情報を、決文を を情報を作に通信販売センタのに通信するようにしているが、通信販売センタの主の開かる傾同権とを介して認 続されたときに、通信販売センタ3からの指示に従っ て、注文商品情勢より先に、利用者護引情報を送信する ようにしてもよい。

【0073】次に、木発明の通信販売増末装置の第2の 実施形態について、図7およが可8を用いて説明する。 【0074】図7は本発明の通信販売増末装置の第2の 実施形態を示すプロック図である。

【0075】図中、1は通信販売端末装置、2は通信回線、3は通信販売センタ、6は表示装置、7は光ディスクである。

【0076】通信販売センタ3は、好定の複数の利用者 ごとに、該利用者に関する情報である利用者情報を記憶 保持している。

【0077】 ここでも、上途と同様に、利用者付付は、 何えば、利用者の住所、氏名。 東話番号、クレジットカードのカード番号、銀行の口度番号等を表すを確情針で、 あるようにすることができる。

【0078】第2の実施形態においては、(1) 販売料象の商品に関する情報である商品カクログ情報が記憶されている、読み出し専門の第1の記憶領域。(2) 通信販売センタ3が特定の利用者情報を報例するために必要な情報である利用音識別情報と、通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続するために必要な情報である接続情報とが配憶されている。1度だけ書き込みが可能な第2の記憶環域、からなる1つの記憶媒体である光ディスク7を用いるようにしている。

【0079】ここでも、上述と回縁に、商品のタログ情報は、商式は、商品の外閣を要す情報(静止面データや動画データ)。商品の説明を表す情報(音声データやデキストデータ)。商品に固有に付与されている商品コード情報(デキストデータ)等であるようにすることができる。

【0080】また、上途と関係に、利用者識別情報は、 例えば、利用者に固有に仕与されている利用者・・・・ドゥ 報であるようにすることができる。

【0081】また、上述と同様に、接続情報は、例えば、通信販売センタ3の電話番号を表す情報であるようにすることができる。

【0082】そとで、関7に示すように、通信販売機本 装置1は、光ディスクでを装着回託な光ディスク装着部 17を備えるようになっている。

【0083】たお、光ディスクでは、通信販売業者から 利用者に提供されるようになっている。

【6084】 詳しくは、商品カクログ情報は、全ての利用者に共通する内容であるので、通信販売業者は、商品カタログ情報を乗すの記憶候業に配信した光ディスクイを大乗生差する。また、利用者識別情報は、利用者ごとに異なる内容であるので、通信販売業者は、第1の記憶領域に商品カタコグ情報を制造した光ディスクイの各々につ

いて、利用者識別情報と接続情報とを第2の記憶領域に 書き込んでから、該光ディスクテを、第2の記憶開城に 書き込んだ利用者識別情報に対応する利用者に提供する。 たお、利用者識別情報に、通信販売業者が、利用者 との間で通信販売を実施する契約を交わして利用者情報 を入手したときに、該利用者に固有に付与されるもので ある。

【0085】また、図7に示すように、通信販売端末装置1は、表示装置6を接続可能な接続端子14と、商品の往文指示の入力を受付ける人力装置15と、通信販売センタ3との間を通信回額2を介して接続する通信装置16とを備えている。

【0086】さらに、図7に示すように、通信販売編末 装置1は、光ディスク装着部17に装着された光ディス ク7中の第1の記憶領域に記憶されている商品カタログ 情報、並びは、光ディスク装着部1/に装着された光ディスク7中の第2の記憶領域に記憶されている利用を譲 別情報および接続情報を読み出す再生設置13を備えて いる。

【9087】再生装置13は、詳しくは、光ディスク装着部17に装着された光ディスク7中の第1の配換傾域から読み出した商品カタログ情報を、接続端子14に接続された表示装置6に長示する。また、光ディスク装着部17に装着された光ディスク7中の第2の配換領域から読み出した接続情報を用いて、通信装置16が通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続するよう制御する。また、光ディスク装置部17に装着された光ディスク7中の第2の記憶領域から読み出した利用者識別情報、および、入力装置15が注文指示の人力を受付けた問品に関する情報である注文商品情報を、通信装置16が通信販売センタ3に送信するよう制御する。

【0088】このように、通信販売増末装置1の動作は、実際には、再作装置13の動作によって実現されるものである。

【0089】以下、再生装置13の動作について、図8 を用いて設明する。

【0 0 9 0】図 8 は写生装置 (3 の動作の流れを示すプローチャートである。

【0091】 なお、再生実置13は、内部に設けられたマイクロブロビッサがブログラムを実行することで、その動作を行うものである。マイクロブロセッリが実行するブログラムは、内部に設けられたフログラムROMに配信されているようにしてもよいし、光ディスクで中の第1の配信領域によび光ディスクで中の第2の配信領域のいずれか一方に記憶されているようにしてもよい。

【0092】利用者は、通常仮范を利用する際に、まず、表示装置 6 を接続端子14 に接続すると共に、通信 動発変者から提供された光ディスクでを光ディスク装置 記17に接着し、通信販売海沫装置1を起動する。

【0093】図8に示すとうに、通信販売端末時期1が

起動されると、由生芸書13は、元ディスク等者第17 に装着された光ディスクで中の第1の記憶領域から商品 カタログ情報を誘導出し、接続操了14に接続された表示失策6に表示するので(ステップ801)、利用者 は、商品の注文指示を入力装置16から入力することが できる。

【0094】 なお、再生装置(3が商品カタログ情報を 表示する様子、および、利用者が商品の証文権示を入力 する様子の一例は、上述した通りである。

【6095】利用者が商品の建文指示の入力を終了する と(ステップ802)、再生集直13は、光ディスク装 着部17に装着された光ディスク7中の第2の記憶領域 から接続情報を選み出す(ステップ803)。

【0096】続いて、再生装置13は、読み出した接続情報を油信装置16に出力することで、誤接続情報を用いて通信販売センタ3との間を通信回算2を介して接続するよう、通信装備16を制御する(ステップ804)。

【0097】例えば、核杭情報が通信販売センタ3の電話番号を乗上情報である場合には、通信装置16は、再生装置13から出力された接続情報が乗上電話番号をダイヤルして通信販売センタ3との間を通信回顧9を介して接続する。

【0098】通信販売センタ3との関が通信回線2を介して接続されると、再生装置13は、光ディスク装着路17に装着された光ディスク7中の第2の記憶領域から利用者識別情報を読み出すと共に(ステップ805)、行文指示が入力された商品についての企業習品情報を作成する1ステップ806)。

【0099】ステック806では、例えば、再生装置13は、光ディスク装着部17に装着された光ディスク7中の第1の記憶領域に記憶されている商品カタログ情報のうちから、法文指示が入力された商品に四有に付りされている度とコード情報を読み出すことで、注文商品情報を停成することができる。

【0100】続いて、海生装置13位、ステップ805 で読み出した利用者識別情報、および、ステップ806 で作成した注文質品情報を、通信装置16に出力することで、これらの情報を通信回線2を介して通信販売センタ3に法信するよう、通信装置16を制御する(ステップ807)。

【0101】これにより、適信共産16は、再件装産1 3からは力された利用者識別便倒および和文商品情報 を、通道回線2を介して適信販売センタ3に送信するので、通信販売センタ3は、通信販売論本装置1から送信 スれた利用者請別情報によって、自身が起憶保持してい ろ利用者情報を特定し、商品を注文した利用者を請別す ることができる。また、通信販売センタ3は、通信販売 議案提高1からは漢された作文商品資訊によって、利用 者が注文した商品を増別することができる。

[0102] なお、通信販売センタのは、通信販売事業 実費 1から通信された利用者識別情報および往文商品情報に基づいて判断した受強需果を、通信販売端末装置! に販済することができる。

[0103] 例えば、通信反応センタ3は、利用者が注文した商品の納限を表すメッセージ情報を必受注結果として返送することができる。また、例えば、利用者情報が利用者の購入限度額を含むようにした場合に、利用者が注文した商品の合計会額が購入限度額を超えたならば、その旨を表すメッセージ情報を、受許等果として返送することができる。

【0104】さて、通信販売編末装置1においては、通信販売センタ3から返送された受注結果は、通信装置1 6によって受信されて再生装置13に出力される。

【0105】そこで、再生失費13は、通信装置16から受性結果が出力されると(ステップ808)、該受注 納果を表示装置6に表示してから(ステップ809)、 通信販売センタ3との間を接続している通信回線2を切断するよう、通信装置16を制設する(ステップ81

【0106】以上説明したように、本地明においては、通信販売端末装置1は、利用者情報を記憶保持している通信販売センタ3に通信回線2を介して商品を注欠する際は、接供情報を用いて通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続すると共は、注文商品情報および利用者職別情報を通信販売センタ3に通信するようにようにしている。

【0107】特に、利用考點別情報および接続情報は、 通信販売端末装置1に装着される光ディスクテに手の記憶されていることから、利用者は、往文高品情報の記さなる住文権示を入力だけで、循水は入力する必要があった利用者情報を入力する必要がなくなり、接続情報も入力する必要がなくなる。

【0108】従って、本発明によれば、利用者が行う奇 品の主义予頼を簡素化することが可能となる。

【0109】 なお、上述した第2の実施が悪においては、通信販売機需装置1が、利用音識別情報を、建文商品情報を共に通信販売センタ3に活信するようにしているが、通信販売センタ3との間が通信回線2を介して確認されたときに、通信販売センタ3からの指示に従って、建文商品行戦より先に、利用者識別情報を返信するようにしてもよい。

【① 1 1 1】 図 9 は本発明の油信販売増末装置の第3の 実施形態を示すプロック図である。

【0112】図中、1は通信販売端末視測、2は通信阿 卸、3は適信販売センタ、3はCD ROM、6は表示 装置、8はROMである。

【0 1 1 3】通信販売センテ3は、所定の複数の利用者ごとに、数利用者に関する情報である利用者情報を記憶。保持している。

【0114】ここでも、上述と可談に、利用者情報は、 例えば、利用者の住所、氏る。電話番号、クレジットカードのカード替号、銀行の「座番号等を表す各種情報で あるようにすることができる。

【0.1.1.5】第3の実施形態においては、(1) 腕是対象の商品に関する情報である商品カタコグ情報が配置されているでD・ROM4、(2) 通信販売センタ3が特定の利用者情報を識別するために必要な情報である利用者裁別情報と、通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続するために必要な情報である核院情報とが記憶されているROM8、の2つの記憶媒体を用いるようにしている。

【0116】ここでも、上途と同様に、商品カタログ情報は、例えば、商品の外観を表す情報(静止画データや動画データ)。商品の説明を表す情報(音声データやテキストデータ)。商品に図示に付与されている商品コード情報(テキストデータ)等であるようにすることができる。

【0117】また、上述と同様に、利用各議別情報は、 例えば、利用者に因もに付与されている利用者マード情 雑であるようにすることができる。

【0118】また、上述と同様に、接続情報は、例えば、通信販売センタ3の適高番号を表す情報であるようにすることができる。

【0 119】そこで、関9に示すように、通信販売端末 報度1は、CD ROM4を装着可能なCD ROM装 各部11を備えるようになっており、ROM8を内裁す るようになっている。

【0 1 2 0】なお、CD ROM 4は、通信販売業者が ら利用者に提供されるようになっている。

【0121】詳しくは、商品カタいグ情報は、全ての利用者に共通する内容であるので、通常販売業書は、商品カタログ情報が更新されたときなどに、適宜、商品カタログ情報を記憶したCD-ROM4を利用者に提供する。

【0122】また、特に、第3の実施形態においては、 利用波識別情報および接続情報が、通信販売増出装置1 に内臓されたROM8に記憶されるようになっているので、通信販売端末装置1自体も、通信販売業業から利用 青に提供されるようになっている。

【0123】詳しくは、利用考練別情報は、利用者ごと に異なる内容であるので、通信販売業者は、利用者ごの 関で適信販売を実施する契約を交換して利用者情報を入 テしたときに、工度だけ、該利用者に関互に付与した利 用者機切情報と提供情報とを書き込んだROMAを作成 し、作成したROM8を内蔵した適信販売提来装置する。 数利用者に提供する。なお、利用者が転居した場合な ど、利用者情報を変更する必要が生じた場合でも、通信 販売センク3が配債保持している利用者情報を変更すれ ばよく、利用者減別情報を変更する必要はないので、通 信販光業者は、通信販売端末装置1を1度だけ利用者に 提供すればよい。

【0124】また、図9に示すように、通信販売維末装置1は、表示装置6を接続可能な接続増介14日、商品の主文指示の入力を受付ける人力装置15日、通信販売センタ3日の間を通信回議2を介して姿装する通信装置16日を備えている。

【0125】さらに、図9に示すように、通信販売編末 装置1は、CD-ROM装着第11に装着されたCD-ROM4に記憶されている商品カタコグ情報、並びに、 ROM8に記憶されている利用者識別情報および接続情 報を読み出す再生装置13を備えている。

【9126】再生装置13は、詳しくは、CD-ROM 装着路11に装着されたCD-ROM4から読み出した 商品カタログ情報を、接続端子14に接続された春不装 度6に表示する。また、ROM8から読み出した接続情報を用いて、通信装置16が通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続するよう制御する。また、ROM8から読み出した利用者識別情報、および、入力装置15が注文指示の入力を受けた商品に関する情報である注文商品情報を、通信装置16か通信販売センタ3に 法信12よう割組する。

【0127】このように、通信販売場末装置1の動作 は、実際には、再生装置13の動作によって実現される ものである。

【0.1.2.8】以下、再生装置1.3の動作について、図1. 0を用いて説明する。

【0129】図10は再生装置13の動作の流れを示す フローチャートである。

【0130】なお、再生装置13は、内部に設けられたマイクロプロセッサがプログラムを実行することで、その助作を行うものである。マイクロプロセッサが実行するプログラムは、内部に設けられたプログラムROMは記憶されているようにしてもよいし、CD ROM4およびROM8いずれが一方に記憶されているようにしてもよい。

【0131】利用者は、通信販売を利用する際に、まけ、表示装置6を接続増了14に接続すると共に、通信販売業者から提供されたCD ROMすをCD ROMまを高11に装着し、通信販売端末装置1を移動する。【0132】図10にデオように、通信販売端末装置1が起動されると、再生装置13以、CD-ROM装置路11に共春されたCD ROMまから高品カタロダ情報を読み出し、接続端子14に接続された支示装置6に表示するので(ステップ1901)、利用者は、簡単のは技術で入力装置15かに入りすることができる。

【9133】なお、再生装置13が商品カクログ情報を表示する様子、および、利用者が商品の建文指示を入力する様子の一例は、上述した通りである。

【0134】利用者が商品の注文指示の入力を除了する と(ステップ1002)、再生装置13は、ROM8から接続情報を読み出す(ステップ1003)。

【013ヵ】続いて、出生装置13は、読み出した接続 情報を通信装置1'6に出力することで、鉄接麻積組を用いて通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続するよう、通信装置16を制御する(ステップ1004)。

【0136】例えば、接続情報が通信販売センタ3の電話番号を表す情報である場合には、通信装置16元、再年表置13から出力された接続情報が表す電話番号をダイヤルして通信販売センタ3に対して発呼することで、通信販売センタ3との間を通信回議2を介して接続する。

【0137】通信販売センタ3との間が通信回線2を介 して接続されると、再生装置13は、ROM8から利用 青取駅情報を読み出すと共に(ステップ1005)、注 文指示が入力された商品についての注文商品情報を作成 する(ステップ1006)。

【0138】ステップ1006では、例えば、再生装置 13は、CD-ROM装着部11に装着されたCD-ROM4に記憶されている簡品カタログ情報のうちから、 注文指示が人力された商品に固有に付与されている商品 コード情報を読み出すことで、注文商品情報を作成する ことができる。

【0139】 続いて、再生接電1371、ステップ100 5で読み出した利用者磁度情報、および、ステップ10 06で作成した注文商品情報を、通信装置16に出力することで、これらの情報を通信回導2を介して追信販売 センタ3に送信するよう、通信装置16を制御する(ステップ1007)。

【0140】これにより、通信装置16は、再生装置13から出力された利用名識別情報および注文費品情報を、通信回線2を介して通信販売様本とタ3に通信下るので、通信販売センタ3は、通信販売機本装置1から送信された利用者識別情報によって、自身が記憶疾持している利用者情報を特定し、商品を注文した利用者を識別することができる。また、通信販売センタ3は、通信販売電床装置1から送信された深文商品情報によって、利用者が採文した商品を識別することができる。

【0141】なお、通信販売センタのは、通信販売増来 装置)から送信された利用者議別情報および建文商品情 他に基づいて利断した受許請求を、通信販売編末装置に に送送することができる。

【0142】例えば、通信販売センタ3は、利用者が注 でした商品の納別を表すメッセージ情報を、依は端果と して最適することができる。また、例えば、利用名情報 が利用者の購入限度額を含むようにした場合に、利用者が往実した商品の合計金額が購入租度額を超えたなら ば、その官を要すメッセージ情報を、受診効果として返送することができる。

【0140】さて、面信販売端末装置1においては、通信販売センタリから返送された父生結果は、通信装置1 6によって受信されて再生装置13に出力される。

【0144】そこで、再生装置13は、適信装置16から受法結果が出力されると(ステップ1008)、整要連結集を要示装置6に表示してから(ステップ1009)、通信販売センタ3との間を接続している通信回線2を切断するよう、通信装置16を制御する(ステップ1010)。

【0145】以上説明したように、本種明においては、 通信販売端末装置1は、利用者情報を記憶保存している 通信販売センタ3に通信回應2を介して商品を注文する 際に、接続情報を用いて通信販売センタ3との間を通信 回席2を介して接続すると共に、注文商品情報および利用者識別情報を通信販売センタ3に送信するようによう にしている。

【0146】特に、利用者識別情報および複雑情報は、通信販売増末装置1に内蔵されたROM8に予め記憶されていることから、利用者は、注文商品情報の元となる注文指示を入力だけで、従来は入力する必要があった利用者情報を入力する必要がなくなり、接続情報も入力する必要がなくなり、

【0147】従って、本発別によれば、利用者が行う商品の注文手順を簡素化することが可能となる。

【0148】なお、上述した第3の真鍮形態において は、通信販売編末装置1が、利用者識別情報を、注文商品情報を共に通信販売センタ3に送信するようにしているが、通信販売センタ3との間が通信回線でを介して接続されたときに、通信販売センタ3からの指示に従って、注文商品情報より先に、利用者識別情報を送信するようにしてもよい。

【0149】次に、<u>李発明の通信販売簿末装置の第4の</u> 実施形態について、図11~図13*を*用いて説明する。

【UISU】図11は本発明の通信販売端末装置の第4 の場施形態を示すプロック図である。

【0 1 5 1】 図中、1 は通信販売線末装置、2 は通信回 線、3 は通信販売センタ、4 はCD ~ R OM、6 は会示 装置、7 は光ディスク、9 は不展発性メモリである。

【0152】通信販売ナンタ3は、所度の複数の利用者 ごとは、資利用者に関する情報である利用者は親を記憶 保持している。

【0150】 ここでも、上述と同様に、利用者性税は、 例えば、利用者の住所、収名、電話番号、クレジットカードのカード番号、銀行の口座参与等を天子各種情報で あるようにすることができる。

【0 1.5 1】 邪斗の実端形態においては、 (1) 販売針

泉の商品に関する情報である商品カクログ情報と、延信 販売センタ3との間を適信目載2を介して接続するため に必要な情報である接続情報とが記憶されているCID ROM4。 (2) 通信販売センタ3が特定の利用者情報 を識別するために必要な情報である利用者遺別情報が記憶されている不福整性メモリ3。の2つの記憶媒体を用いるようにしている。

【0.155】 ここでも、上述と可様に、商品カタリグ情報は、例えば、商品の外観を表土情報(静止声データや動画データ)、商品の説明を老士情報(音声データやテキストデータ)、商品に固有に対与されている商品コード情報(テキストデータ)等であるようにすることができる。

【0156】また、上述と同様に、利用者権別情報は、 例えば、利用者に関右に行与されている利用者権別情報 であるようにすることができる。

【0157】また、上述と同様に、は病情報は、例え に、通信販売センタ3の電話番号を表す情報であるよう にすることができる。

【0.1.5.8】そこで、通信販売組末装置14は、CD R OM 4を装着可能なCD-ROM装着部11を備えるようになっており、不揮発性メモリ9を内蔵するようになっている。

【0.1.5.9】なお、<u>C.D.-ROM4は、通信販売業者が</u> ら利用者に提供されるようになっている。

【0 1 6 0】詳しくは、原品カタログ情報は、全ての打用者に共通する内容であるので、通信販売業者は、原品カタログ情報が更新されたときなどに、適宜、商品カタログ情報および接続情報を記憶したCD ROM 4 を利用者に提供する。

【0161】また、特に、第4の実施形態においては、 物用音識別情報が、通信販売標末装置1に内轄された不 研究性メモリタに記憶されるようになっているので、通 信販売増末協置1は、通信販売センタ3との到を通信回 課2を介して1回日に接続したときに、通信販売センタ 3から通信された利用素質別情報を、不揮発性メモリタ に書き込むようになっている。

【0162】詳しくは、利用者識別情報は、利用者ごとに異なる内容であるので、後述するように、利用者は、通信販売編末装置1と通信販売センタ3との間を通信回業2を介して1回日に収練したときに、通信販売増末装置1から日夕の利用を情報を入力して通信し、通信販売業とは、通信販売端末装置1から適同された利用事情報を通信販売センタ3が入手して、利用者との間で通信販売を実施する契約を受わしたときに、該利用者に固有に付与した利用者鑑別情報を通信販売センタ3から通信販売指末装置1に適信すれば、通信販売増減を運賃上が利用る環境情報を不確発性メチリ9に含き込むことができるとうになる。

【0163】また、図11に示すように、通信販売端末

状置(は、表示基置りを接続可能な接続機子)4と、簡 場のは文指示の入力を受付ける入力装置15と、通信販 売センダ3との間を通信回線2を介して接続する通信装 置16とを備えている。

【0 1 6 4】 さらに、図1 1 に示すように、通信販売端末装置 1 は、CD ROM設書部1 1 に応着されたCD ROM は記憶されている商品カタロダ情報およびは機賃値、並びに、不揮発性メモリ9に記憶されている利用者強引情報を認み出す再生装置13を備えている。

【0 1 6 5】再生装置 1 3 は、詳しくは、CD RUM

接着部 1 1 に接着されたCD-ROM4から認み出した 商品カタコグ情報を、接続端子 1 4 に接続された表示装 置6 に表示する。また、CD-ROM接着部 1 1 に装着 されたCD-ROM4から減み出した接続情報を用い て、通信装置 1 6 が通信販売センタ 3 との間を通信回談 2 を介して接続するよう制御する。また、不郷発性メモ リリから読み出した利用者識別情報、および、入力装置 1 5 が注文権中の入力を受付けた商品に関する情報である る住文商品情報を、通信装置 1 6 が通信販売センタ 3 に 送信するよう制御する。

【0 1 6 6】このように、通信販売端末抜配1の動作 は、実際には、再生装置1 3 の動作によって実現される ものである。

【0 1 6 7】以下、再生装置1 3の動作について、図 1 2を用いて説明する。

【0.1.6.8】 区1.2 は再生装置1.3 の動作の流れを示す フェーチャートである。

【0169】なお、再生装置13点、内部に設けられたマイクロプロセッサがプログラムを実行することで、その動作を行うものである。マイクロプロセッサが実行するプログラムは、内名に設けられたプログラムROMに定想されているようにしてもよいし、CD-ROMもおよび不得発性メモリ9のいでれか。方に記憶されているようにしてもよい。

【0170】利用者は、通信販売を利用する際に、まず、表示装置のを依続端子14に接続すると共に、通信販売業者から提供されたCD-ROM4をCD-ROM設度が11に接着し、通信販売端末接置1を起動する。【0171】図12に示すように、通信販売端末接置1が起動されると、再生装置13は、CD-ROM映金約11に接着されたCD-ROM4から商品カクロジ信集を読み出し、接続端子14に接続された表示装置6に表示するので(ステップ1201)、利用者は、海島の注文指示を入力装置15から入力することができる。

【0.17.2】なお、再生装置1.3が底山カタログ情報を 表示する様子、および、利用者が商品の企業指示を入力 する様子の一例は、上述した通りである。

【0173】利用者が耐量の注文指示の人力を終了する と(ステップ1202)、再生装置13は、不輝琴性メ モリョに利用者離別情報が記憶されているか心かを判定 する (ステップ1203)。

【0174】利用者識別情報が記憶されていない場合 は、再生装置13は、利用者識別情報を不翻発性メモリ 9に書き込むために、通信販売契約処理を行う(ステッ ブ1204)。なお、通信販売契約処理の処理内容については、後述する。

[0175] また、利用者識別情報が記憶されている場合は、再生装置13は、不規範性メモリョから接続情報を進み出す(ステップ1205)。

【0176】焼いて、再生装置13/は、流み出した接続 情報を通信装置16に出力することで、設接破情報を用 いて通信販売センク32の間を通信回線2を介して接続 するよう、通信装置16を制御する(ステップ120 6)。

【0177】例えば、接続情報が通信販売センタ3の電 話音号を要す情報である場合には、通信装置16は、再 生装置13から出力された接続情報が要す電話番号をダ イヤルして通信販売センタ3に対して発呼することで、 通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続する。

【0178】通信販売センタ3との開新通信回線2を介して接続されると、再生接置13は、不揮発性メモリ9から利用者通期情報を読み出すと共に(ステップ1207)、生実指示が入力された開品についての正文所品情報を作成する(ステップ1208)。

【0179】ステップ1208では、例えば、再生装置 13は、CD・ROM装着部11に装着されたCD・R OM4に記憶されている商品カクログ情報のうちから、 独文指示が入力された商品に関イに付与されている商品 コード情報を認み出すことで、定文序品情報を作成する ことができる。

【0186】続いて、<u>産生装置13は、ステップ120</u>7で読み出した利用管難別情報、および、ステップ12 08で作成した住文商品情報を、通信装置16に出力することで、これらの情報を通信回線2を介して当信販売センタ3に送信するよう、通信装置16を制御する(ステップ1203)。

【0181】これにより、通信装置16は、再作業費1 3から出力された利用者識別情勢および往文術品情報 を、通信回講2を介して通信販売センタ3に送信するので、通信販売センタ3は、通信販売増大券折1から送信 された利用者識別情報によって、自身が配慮契約している利用者情報を停定し、商品を注文した利用者を識別することができる。また、通信販売センタ3は、通信販売 備不装置1から送信された注文商品情報によって、利用者が正文した原品を識別することができる。

【0182】なお、通信販売センタ3は、通信販売額未 装費1から送信された利用者強別情報および企業の出席 研に基づいて利助した受性情景を、過信時元端表表面! に対対することができる。 【0183】例えば、適信販売センタ3は、利用者が生文した商品の領別を表すメッセージ情報を、受注結果として返送することができる。また、例えば、利用者情報が利用者の職人限度額を含むようにした場合に、利用者が住文した商品の合計金額が購入限度額を超えたならば、その旨を表すメッセージ情報を、受益結果として返送することができる。

【0184】さて、通信販売編末装置1においては、通信販売センタ3から返送された反注結果は、通信装置1 8によって受信されて再生装置13に出力される。

【0185】そこで、再生装置13は、通信装置16から受注結果が出力されると(ステップ1210)、該受注結果を書不装置6に会示してから(ステップ121 1)、通信販売センタ3との間を接続している通信回線 2を関係するよう、通信装置16を制御する(ステップ 1212)。

【0186】次に、図12のステップ1204で行う通信販売契約処理について、図13を用いて放明する。

【0187】図13は通信短票契約処理の近れを示すフローチャートである。

【0188】図13に示すように、再生装置13は、まず、利用者情報の人力を促す画面を、接続端子14に接続された表示装置6に表示する(ステップ1301)。 【0189】利用者が利用者情報の入力を終了すると (ステップ1302)、再生装置13は、不揮発性メモ り9から接続情報を認み出し(ステップ1303)、設み出した接続情報を通信装置16に出力することで、該接続情報を用いて適信設置でセンタ3との間を通信回線2を介して接続するよう、通信装置16を制備する(ステップ1304)。

【0190】例えば、接続情報が通信販売センタ3の意話番号を表す情報である場合には、通信装置10は、再生装置10から出力された接続情報が表す電話番号をダイヤルして通信販売センタ3に対して発呼することで、通信販売センタ3との間を通信回降2を介して接続する。

【の191】通信販売センタ3との間が通信回線2を介 して機能されると、再生装置13は、利用名が入力した 利用者情報を、通信装置16に出力することで、これら の情報を通信同級2を介して通信販売センタ3に接信す るよう、通信装置16を制御する(ステップ130 3)。

【0192】これにより、通信装置16点、再生装置13から出力された利用者情報を、通信回線2を介して通信販売センタ3に送信するので、通信販売センタ3は、通信販売編末装置1から送信された利用を情報を入手することができる。

【0193】 そこで、通信販売センタ3は、通信販売業 本機関1から適信された日用者情報を配便は附すると共 に、31用者情報を送信した利用者に利用者無関値視象付 生することで、適信販売を実施する契約を交わすことが できるので、付与した利用を識別情報を、適信販売端末 決定しに現場する。

【0194】 なお、通信販売センタ3は、利用者識別情報を返送する前に、例えば、利用者情報に含まれているクレジットカードのカード番号をクレジットカード会社に概念するなどして、通信販売端末装置1から美信された利用者情報の正当住を判定することが好ましい。また、通信販売増末装置1との間を接続している通話番号をダイヤルして通信販売増末装置1に対して発呼することで、利用者情報の正当性を判定するようにしてもよい。

【0195】さて、通信販売端末装置」においては、通信販売センタ3から返送された利用者識別情報は、通信接置16によって受信されて再生装置13に出力される。

【0196】そこで、再生装置13は、通信装置16から利用者識別情報が出力されると(ステップ1306)、該利用者識別情報を不揮発性メモリ9に含き込んでから(ステップ1307)、通信販売センタ3との間を接続している通信恒線2を切断するよう。通信装置16を制御する(ステップ1308)。

【0197】これにより、不揮発性メモリ9に利用者識別情報が配慮された状態となるので、次回以降は、図12に示したフローチャートにおいて、スケップ1203からスアップ1203に移行することができるようになった。

【0198】なお、通信販売契約処理を終了した後、すなわち、スフップ1204の続に、ステップ1205に 移行するようにしてもよい。

【0199】以上説明したように、本名明においては、通信販売場末長第1は、利用名押組を記憶保持している通信販売センタ3に通信回線2を介して商品を注文する 例に、接続情報を用いて適信販売センタ3との他を通信 回線2を介して接続すると共に、注文商品信料をよび利 用者強い情報を通信販売センタ3に送信するようによう にしている。

【0200】特に、核糖情報は、通信販売結本装置」に 被者されたCD-ROM4に予め起信されており、利用 者識別情報は、上述した通信販売契約処理によって通信 販売結束装置1に内種された不様発性メモリ9に起係さ れることから、利用者は、社文商品情報の記となる作文 指示を入力だけで、従来は入力する必要があった利用者 情報を入力する必要がなくなり、技術情報も入力する必要がなくなる。 要がなくなる。

【0201】従って、木を切によれば、利用者が行う命 品の江文手順を顧素化することが可能となる。

【0202】また、本発別によれば、利用者が近信販売 業者との間で通信販売を実施する契約を交わす際の手順 占領事化することが可能となる。

【0203】なお、上述した第4の無定形態においては、通信販売標末装置1が、利用青盛別情報を、注文商品情報を未に通信販売センタ3に透信するようにしているが、通信販売センタ3との間が通信回線2を介して後続されたときに、通信販売センタ3からの指示に従って、注文商品情報より先に、利用普騰原情報を通信するようにしてもよい。

【0204】次に、本発明の通信販売輸末装置の第5の 実施形態について、図14〜図16を用いて説明する。 【0205】図14は本発明の通信販売提末装置の第5 の実定形態を示すプロック図である。

【0 2 0 6】図中、1 は通信販売端末装置、2 は通信回線、3 は通信販売センタ、4 はCD・ROM、6 は表示装置、7 注意ディスク、9 は不福発性メモリである。 【0 2 0 7】通信販売センタ 3 は、所定の複数の利用者

【10207】通信販売センタ3位、所よの機械の利用もごとに、減利用者に関する情報である利用者情報を記憶。 保持している。

【0208】ここでも、上途と同様に、利用者情報は、例えば、利用者の住所、氏名、電話番号、クレジットカードのカード番号、銀行の口運番号等を表す各種情報であるようにすることができる。

【0209】第5の実施形態においては、(1) 販売対象の奇話に関する情報である商品カタログ情報が記憶されているCD-ROM4、(2) 通信販売センタ3が特定の利用者情報を識別するために必要な情報である利用者説別情報と、通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続するために必要な情報である接続情報とが記憶されている不極発性メモリ9、の2つの記憶媒体を用いるようにしている。

【0210】ここでも、上述と同様に、商品カクログ権 税は、例えば、商品の外長を表す情報(鈴止南ボータや 動画データ)、商品の設明を表す情報(笛声アータやデ キストデータ)、商品に固有に付与されている商品コー ド情報(デキストデータ)等であるようにすることがで さる。

【0211】また、止心と同様に、利用者環境情報は、 例えば、利用者に固有に位字されている利用者異別情報 であるようにすることができる。

【0212】また、上述と同様は、強液情報は、例えば、油度販売センタのの電話番号を表示情報であるようにすることができる。

【0.2.1.3】そこで、通信販売場末装置)は、CD-R OM4を装着可能なCD-ROM決表部11を備えるようになっており、不構発性メモリ9を内蔵するようになっている。

【0 2 1 4】 なお、CD-ROM 4 は、通信販売業者から利用者に提供されるようになっている。

【0215】詳しくは、商品カタログ情報は、今ての利 生者に共通する内容であるので、通信販売等者は、商品 カタログ情報が更新されたときなどに、適宜、信息カタ ログ情報を記憶したCD-ROM4を利用者に提供する。

【0216】また、特に、第5の実施が強においては、利用者識別情報および接続信報が、通信販売端末装成1に内蔵された不理発性メモリ9に配問されるようになっているので、通信販売機末装置1は、通信販売センタ3との間を通信回線2を介して1回日に接続したときに、通信販売センタ3から送信された利用者離別情報および接続情報を、不準発性メモリ9に書き込わようになっている。なお、通信販売端末装置1と通信販売センタ3との関を通信回線2を介して1回目に接続するときには、利用者が自り接続情報を入力することとなる。

【0217】詳しくは、利用者識別情報は、利用者ごとに異なる内室であるので、後述するように、利用者は、通信販売場本装置1と通信販売センク3との間を通信回線2を介して1回目に接続したときに、通信販売場本装置1から自身の利用者情報を入力して送信し、通信販売場本装置1から送信された利用者情報を通信販売センク3が入手して、利用者との間で通信販売を実施する契約を交わしたときに、該利用者に関有に付与した利用者識別情報および接続情報を通信販売センタ3から通信販売増来装置1に設信すれば、通信販売場本装置1が利用者識別情報および接続情報を不停発性メモリ9に書き込むことができるようになる。

【0218】また、図14に示すように、通信販売機束 挟置1は、表示装置6を接続可能な接続電子14と、度 品の注文指示の入力を受付ける人力装置15と、通信販 売センタ3との間を通信回線2を介して接続する通信装 置16とを備えている。

【0219】さらに、図14に示すように、通信放売権 末法設」は、CD-ROM投管第11に装着されたCD-ROM4に記憶されている商品カタログ情報、並び に、不概発性メモリ9に記憶されている利用音識集情報 および接続情報を読み出す再生装置13を備えている。

【0220】再生機関13は、詳しくは、CD ROM 装着部11に接着されたCD-ROM4から読み出した 商品カタログ情報を、接続場了14に接続された大手装 置6に表示する。また、不種発性メモリのから読み出し た接続は低を用いて、通信装置16が通信販売センマ3 との間を通信回乗2を介して接続するよう制御する。また、不接化性メモリリから読み出した利用音観関情報、 および、人力装置15が建立資本の人力を美性のた商品 に関する信仰である任文商品情報を、通信装置16が通信販売センタ3に造信するよう制御する。

【0221】このように、通信販売端末等等1の動作 は、実際には、再生装置13の動作によって実現される ものである。

【0222】以下、再生装置 (3の動作について、図1 5を用いて説明する。 【0.2.2.3】図1.5は自生装置1.3の動作の流れを示す フローチャートである。

【0224】なお、再生装置13は、内部に設けられたマイクロプロセッサがプログラムを実行することで、その動作を行うものである。マイクロプロセッサが実行するプログラムは、内部に設けられたプログラムROMに記憶されているようにしてもよいし、CDでROM4および不保免性メチリ9のいずれか一方に記憶されているようにしてもよい。

【0225】 約用者は、通信販売を利用する際に、まず、表示決量6を接続端子14に接続すると共に、通信 販売業者から提供されたCD-ROM4をCD-ROM 波響部11に接着し、通信販売機定装置1を転動する。

【0226】図15に示すように、通信販売選末装置1 が起動されると、再生装置13は、CD-ROM装電部 11に装着されたCD-ROM4から商品カクログ情報 を認み出し、接接端子14に接続された表示装置6に表示するので(ステップ1501)、利用者は、舒品の往 支指示を入り装置15から入りすることができる。

【C 2 2 7】 なお、再生接置13が商品カクログ情報を 表示する様子、および、利用者が商品の注文指示を入力 する様子の一個は、上述した通りである。

【0228】利用者が商品の注文指示の入力を終了すると(ステップ1502)、再生接置13は、不應発性メデリ9に利用者識別接端および接続権強が記憶されているか否がを制定する(スケップ1503)、

【0229】利用者識別情報および接続情報が記憶されていない場合は、再生装置13は、利用者識別情報および接続情報を不得発性メモノ9に書き込むために、通信販売契約処理を行う(ステップ1504)。なお、通信販売契約处理の処理内容については、後述する。

【0230】また、利用者識別接触および接続情報が記憶されている場合は、所生装置13は、不開発性メモリのから接続情報を読み出す(ステップ1505)。

【0 2 3 1】続いて、再生装置1 3 は、複み出した接続 情報を通信装置1 6 に出力することで、故様続情報を用いて通信販売センタ3 との間を通信回離2を介して接続 するよう、通信装置1 6 を制御する(ステンプ1 5 0 6)

【0 2 3 2】例えば、珍統ド級が通信販売センタ3の乗 部業分を書上情報である場合には、通信装置1 6 に、再 生装置1 3 から出力された接続情報が表上電話番号をダ イヤルして通信販売センタ3 に対して発明することで、 通信販売センタ3 との値を通信回線2 を介して接続す

【0233】通信販売センタ3~の間が通信回線2を介して接続されると、再生装置13は、不振器性メモリリから利用青鷺到情報を読み出すと共に(ステップ130円)、注文指示が入力された簡単についての住文商品情報を作成する(ステップ1508)。

【0234】ステップ1508では、例えば、再生装置 13は、CD-ROM装養部11に装着されたCD-R OM4に習慣されている商品カタログ情報のうちから、 注文指示が入力された商品に関右に仕与されている商品 コード情報を読み出すことで、注文商品情報を作成する ことができる。

[0 9 3 5] 焼いて、古生装置13は、ステップ150 7 で試み出した利用者電影情報、および、ステップ15 08で作成した注文商品情報を、通信装置16に出力することで、これらの情報を通信回報2を介して通信販売センフ3に送信するよう、通信装置16を結御する(ステップ1509)。

【0236】これにより、進信装置16は、再生装置13から出力された利用名識別情報および注文商品情報を、通信回線2を介して通信販売やンタ3に送信するので、通信販売センタ3は、通信販売達未装置1から送信された利用者機動情報によって、自身が記憶保持している利用者情報を特定し、商品を注文した利用者を諷別することができる。また、通信販売センタ3は、通信販売・減未装置1から送信された注文商品情報によって、利用者が在文した商品を設別することができる。

【0.2.3.7】 なお、通信販売センタ3は、通信販売総末 装置1から送信された利用者識別清報および作文商品情 地に集づいて判断した受性結果を、通信販売端末装置1 に返送することができる。

【0238】例えば、通信販売センタ3は、利用者が体 文した商品の納期を表すメッセージ情報を、受注意果と して返送することができる。よた、例えば、利用者情報 が利用者の購入限度額を含むようにした場合に、利用者 が注义した商品の合計金額が購入限度額を招えたなら ば、その質を要すメッセージ情報を、受止箱果として返 送することができる。

【0 2 3 9】さて、通信販売増末装置1においては、通信販売センク3から認适された支圧結果は、通信装置16によって受信されて再生装置13に出力される。

【0240】 そこで、再生装置13は、通信装置16から受性結果が出力されると(ステップ1510)、 該及 注結果を表示装置6に表示してから(ステップ151

 1) 、通信販売センタ3との間を接続している通信直線 2を閉断するよう、通信装置16を制御する (ステップ 1512)。

【0241】次に、図12のステップ1504で行う通信販売契約処理について、図16を用いて返明する。

【02 19】 図1 6 は通信販売契約処理の流れを示すフローチャートである。

【6243】図16に示すように、再生装置13は、利用を識別情報および接続情報が不審条件プモリリに副標されていない場合は、まず、利用者標準および接続情報の人力を促す画面を、接続端子14に接続された表示装置6に表示する(ステップ1661)。

【0244】利用者が利用者情報および検練情報の入力を終了すると(ステップ1602)、再生集費13は、入力された技技情報を通信装費16に出力することで、 遠海域情報を無いて通信販売とンタ3との間を通信回輸 2を介して接続するよう、通信装置16を相仰する(ステップ1603)。

【0245】例えば、接続情報が通信販売センタ3の電話番号を書す情報である場合には、通信装置16は、再生装置13から出力された接続情報が表す電話番号をダイヤルして通信販売センタ3に対して発酵することで、通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続する。

【0246】通信販売センタ3との関が通信回線2を介して接続されると、再生装置13は、利用者が入力した利用者情報を、通信装置16に出力することで、これらの情報を通信回線2を介して通信販売センタ3に送信するよう。通信装置16を制御する(ステップ1604)。

【6247】これにより、通信接属16は、再生装置13から出力された利用者情報を、通信回線2を介して通信販売センタ3に送信するので、通信販売センタ3は、通信販売増末装置1から送信された利用者情報を入手することができる。

【0248】そこで、通信販売センタ3は、通信販売機 未装置1から送信された利用者情報を記憶保持すると共 に、利用者情報を送信した利用者は利用者識別情報を付 与することで、通信販売を実施する契利を交わすことが できるので、付りした利用者識別情報および接続情報 を、通信販売場本装置1に返送する。

【0249】なお、通信販売センタのは、利用者機関情報および接続情報を返送する前に、例えば、利用者情報に含まれているクレジットカードのカード番号をクレジットの、下会社に照会するなどして、通信販売端末装置1から送信された利用者情報の正当性を判定することが好ましい。また、通信販売ピンタのは、通信販売端末装置15の間を接続している通信回議2を一旦切断し、利用者情報の正当性を判定するようにしてもよい。

【0250】さて、通信販売端末装置1においては、通 保販売センタ3から返送された利用書識別情報および接 減情制は、通信装置16によって受信されて再生装置1 3に出力される。

【9251】そこで、再生接属13は、通信装置16から利用者識別情報および接続情報が出力されると(ステップ1605)、額利用者識別情報および接続情報を不確定性メモリリに答き込んでから(ステップ1605)、適信販売センタ3との間を接続している通信回簿2を切断するよう、通信装造16を削削する(ステップ1697)。

【0252】これにより、下標準性メモリタに利用者職別情報および接続情報が記憶された状態となるので、次回以降は、図15に示したフローチャートにおいて、ステップ1503からステップ1505に移行することができるようになる。

【0253】なお、通信販売契約処理を終于した権、すなわら、ステップ1504の後に、ステップ1505に移行するようにしてもよい。

【0254】以上説明したように、本発明においては、通信販売端末装置1次、利用者情報を定道保存している通信販売センタ3に通信回線2を介して商品を注文する際に、接続情報を用いて通信販売センタ3との間を通信回線2を介して接続すると共に、注文需品情報および利用者識別情報を通信販売センタ3に送信するようにようにしている。

【0255】特に、利用者臨別情報および接続情報は、上述した遺信販売契約処理によって遺信販売場未装置1、 に内蔵された不僅発性メモリ9に記憶されることから、 利用者は、注文商品情報の元となる注文指示を入力だけで、従来は入力する必要があった利用者情報を入力する必要がなくなり、接続情報も入力する必要がなくなる。 【0256】後って、本発明によれば、利用者が行う商品のは文子順を酵素化することが可能となる。

【0257】また、本発明によれば、利用者が通信販売 東奇との間で通信販売を実施する契約を交わす際の手順 も簡素化することが可能となる。

【0258】なお、上述した第5の実的彩紙においては、通信販売端末装置しが、利用者識別情報を、注文商品情報を共に適信販売センタ3に送信するようにしているが、通信販売センタ3との間が通信回線2を介して接続されたときに、通信販売センタ3からの圏示に従って、注文商品情報より先に、利用者識別情報を送信するようにしてもよい。

(02591

【実施制】ところで、上記第1の実施形態~上記第3の 実施形態について、通信販売橋末装置1の利用者への提 飲力法を考えると、上述したように、第3の実施形態に おいては、通信販売場本装置1は、通信販売を実施する 契約を変わしたときに、通信販売業者から利用者に直接 提供されるようにする必要あるが、そのほかの実施形態 においては、その必要はない。

【0260】 すなわち、上記第1実施形態においては、 利用者ごとにその内容が異なる利用者識別情報がROM カートリッジうに記憶されているので、ROMカートリッジっのみが、通信販売業者から利用者に直接提供されるようにすればよく、通信販売増末装費1およびCD ROM4は、通信販売業者から利用者に直接提供されなくですよい。

【0.2.6.1】また。上型第2の実施形態においては、初 用者繰列情報が第ディスクでに赤板されているので、先 ディスクでのみが、通信販売業者から利用者に直接提供 されるようにすればよく、通信販売機束装置1は、通信 販売業者から利用者に直接提供されなくてもよい。

【0262】また、上記第4の実施形態および上記第5 の実施形態においては、上述した通信販売契約処理によって、利用者政別情報が不確保性メモリ9に記憶される。 ので、通信販売端末装置1およびCD-ROM4は、通信販売業者から利用者に直接提供されたくてもよい。

【0263】このように、上記第1の実施形態。上記第 2の実施形態。上記第4の実施形態。上記第5の実施形態においては、通信販売業者以 外の業者から利用者に提供されるようにすることができる。

【0264】時に、上記第1の実施形態および上配第2 の実施形態については、商品カタログ情報、利用者觀別 情報、および、接続情報の全でが、通信販売増末装置1 に装着される記憶媒体に記憶されているので、他の情報 が記憶されている記憶媒体の記憶内容を読み出せことが可能である。 る。

【0265】これは、含い替えれば、図1または図7に 示した構成要素を備え、他の用途に利用されている増末 装置を、通信販売端末装置1として利用することが可能 であるということである。

【0266】そこで、以下に、現在等及しているゲーム 機を通信販売端末装置1として利用した実定例について 証明する。

【0267】 (実施例) 図17は現在普及しているゲーム機の一例を示す 外観図である。

【0268】図中、20はコントロールバッド、21は ゲーム機本体、22はTV 始執場子、23に通信モデ ム、24はCD-ROM装者部、25はROMカートリ ッジ表着部である。

【0269】なお、ゲーム機木体21は、実際には、C D-ROM装有部24に装着されたCD-ROM、および、ROMカートリッジ装着825に装着されたROM カートリッジの記憶内容を結み出す再生装置である。

【0270】本書施町のゲーム機においては、CD ROMがCD-ROM装着路24に矢着されて、電源が投入されると、再生装置は、CD-ROM装着路24に矢着されたCD-ROMに記憶されている。ゲームを実現するためのプログラムによびデータを読み出し、読み出したプログラムおよびコントロールバッド20から入力された指示に従って、読み出したアークを、TV接続端子23に接続されたTVに表示することで、ゲームを実現する。

【0271】また、本実施例のデーム機においては、R OMカートリッジがROMカートリッジ装着第25に装 書されて、電気が投入されると、再生協議は、ROMカ ートリッジ装着第25に装着されたROMカートリッジ に記憶されている。ゲームを実現するためのプログラム およびデータを譲み出し、誰み出したプログラムおよび コントコールバッド20から入力された指示に従って、 読み出したデータを、TV接続端子23に接続されたT Vに表示することで、ゲームを実践する。

【0272】また、本実短例のゲーム機においては、CD-ROMおよびROMカートリッジの両方が、各々、CD-ROM装者部24およびROMカートリッジ装着部25に装着されて、電源が投入されると、再生装置は、CD-ROM装着部24に装着されたCD-ROMおよびROMカートリッジは各々記憶されている。ゲームを実現するためのプログラムおよびアデータを読み出し、網を出したプログラムおよびアントロールバッド20から入力された指示に従って、読み出したデータを、TV接続端子23に接続されたTVに表示することで、ゲームを実現する。

【0273】さらに、本実施例のゲーム機は、オプションで販売されている通信でデム23を接続することができ、CD-ROMおよびROMカートリッジの少なくとも一方に配管されているプログラムに、通信モデム23を制御する処理が含まれている場合には、第三者との関を通信回義2を介して接続することができるようになっている。

【0274】このように、ゲーム機本体21(再生装置)が上述した再生装置13に相当し、コントロールパッド20が上述した入力装置15に相当し、TV接続端子22が上述した機械端子14に相当し、TV接続端子22に接続されるTVが上述した表示装置6に相当し、GD-ROM装着部24が上述したCD-ROM装着部11に相当し、ROMカートリッジ装着部12に相当するので、当生装置13の動作を実現するためのプログラムが、CD-ROM4およびROMカートリッジうの少なくとも一方に配慮されているようにすれば、図17に示したゲーム機を通信販売機業装置1として利用することができる。

【0.275】 なお、関17ド示したゲーム機を通信販売 環末装置1として利用した場合は、利用者が入力するは 文格示は、コントロールバッド20から入力することと なるので、コントロールバッド20では文書示を入力することができるようなユーザインタフェースを用意する と思がある。

【0276】詳しくは、コントコールバッド20は、 数に、関18に示すように、カーソルボタン20ヵと、 決定ボタン20ヵと、キャンセルボタン20ヵと、スタートボタン20gとを有するようになっているので、 主 支援示の入力方法を、カーフルボタン20ヵで選択して 設定ボタン20ヵで決定することができるような方法に する必要がある。 【0277】これにより、利用者は、ゲームを楽しむた めのゲーム機を利用して、通道販売における商品の定文 を行うことができるようになる。

【0278】 すなわち、利用者は、ゲーム機と通信モデム23とも所持しているたらば、通信販売端末装置1を購入しなくても、通信販売業者から提供される(1)-ROM4およびROMカートリッジ5(まかは、光ディスクで)を入手するだけでよい。また、利用者は、ゲーム機を所持しているならば、通信販売端末装置1を購入しなくても、通信モデム23を購入すると共に、通信販売業者から提供されるCD-ROM4およびROMカートリッジ5(または、光ディスクで)を入手するだけでよい。

【0279】従って、通信販売業者によっても、ゲーム機の普及率から考えると、通信販売を実施する利用をを機得しやすくなると対応、CD-ROM4およびROMカートリッジ5(または、光ディスク7)を利用者に提供するだけでよいので、コストを削減することができる。

[0280]

【発明の効果】以上説明したように、木鬼明の運信家定端末度選は、所定の複数の利用者ごとに、該利用者に関する情報である利用者情報を記憶保持している通信販売センタに、通信可謀を介して商品を注文する通信販売場を介して接続するために必要な情報である技統情報を用いて、通信販売センタとの間を通信回線を介して接続し、規いて、利用者が注文指示を入力した商品に関する情報である正文商品情報と、該利用者の利用者情報を通信数元センタが職別するために必要な情報である利用者。 は別情報を介して通信販売センタに送信するようにようにしている。

【9281】特に、商品カクリダ情報、利用者識別情報、および、接続情報は、通信販売増末装置が記憶内容を認み出すことが可能な、少なくとも1つの記憶媒体に記載されているので、利用者は、企文商品複雑の元となる注文指示を入力する方がで、従来に入力する必要があった利用者情報を入力する必要がなくなり、接続情報も

入力する必要がなくなる。

【0.2.8.2】従って、本発明の通信販売端米装置によれば、利用者が行う商品の注文手観を簡素化することが可能となるという効果がある。

【図面の簡単を説明】

【図(】本発明の通信販売端末装置の第1の実施が拠を示すプロック図。

【図2】第1の実施形態における再生装置の動作の流れ を示すプローチャート。

【図3】商品カタログ情報の表示の様子を不寸録明例。

【図4】商品カタログ情報の表示の様子を示す説明歴

【図も】商品カタロブ情報の表示の様子を水生説明図。

【図6】 当品カタログ情報の表示の様子を示す説明は。

【辺7】 本発明の通信販売端末装置の第2の実施形態を ポオブロック図。

【図8】 再2の実施形態における再年装置の動作の流れを示すフローチャート。

【図9】 本発明の通信販売端末装置の第3の実施形態を示すプロック図。

【図10】第3の実運形態における所生法費の動作の語れを示すフローチャート。

【図11】木発明の通信販売端末装置の第4の實施形態 ケポすプロック図。

【図12】第4の実施形態における再生装置の動作の流れを示すプローチャート。

【図13】第4の実施が趣における通信販売契約処理の 流れを示すフローチャート。

【図14】本弁明の通信販売端末装置の第5の実施形態 を示すプロック図。

【図15】第5の実施形態における再生装置の動作の流

れるホナフローチャート。

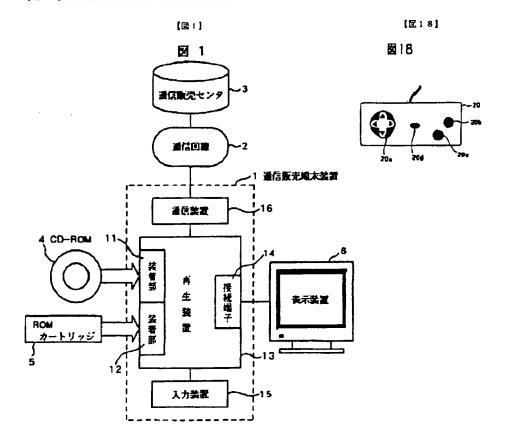
【図16】第5の実施形態における通信販売契約処理の 流れを示すフローチャート。

【図17】本発明の通信販売端末装置として利用するゲーム機の外域図。

【図 1 8】 ゲーム機におけるコントロールペッドの様子 を示す説明問。

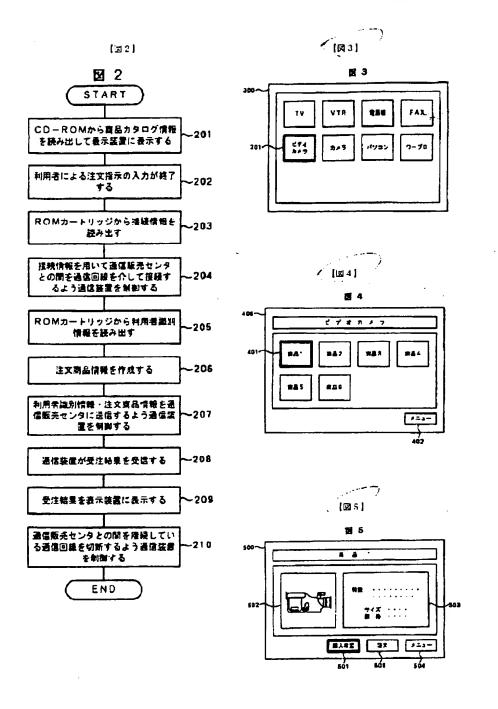
【行号の説明】

1…通信販売提来装置、2…通信回線、3…通信販売中ンタ、4…CD-ROM、5…ROMカートリッジ、6 …表示装置、7…光ディスク、8…ROM、9…不運発 性メモリ、11…CD ROM装者部、12…ROMカートリッジ装着部、13…再生装置、14…接続端干、 15…入力装置、16…通信装置、17…光ディスク装 着部、20…コントコールパッド、21…ゲース機本 広、22…TV接続消干、23…通信干デム、24…C D ROM装着部、20 ROMカートリッジ装着部。



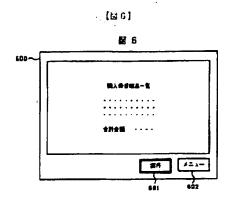
(20)

特謝 1/9-179312



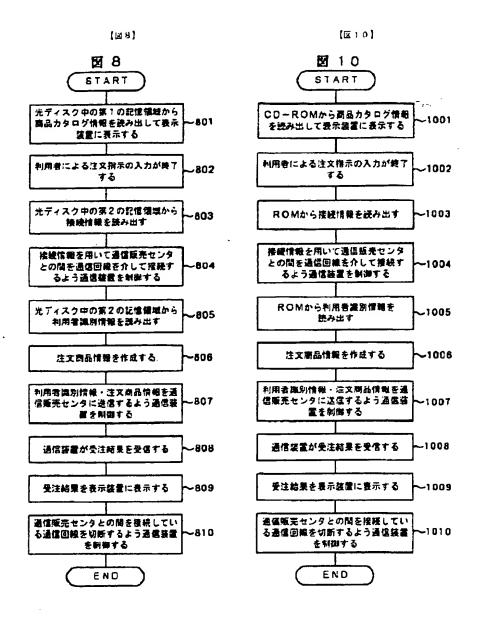
(21)

特開平9-179912



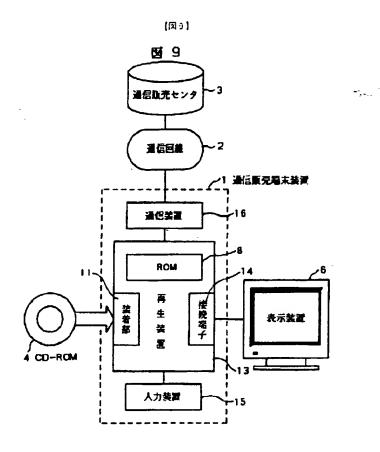
特開平9-179912

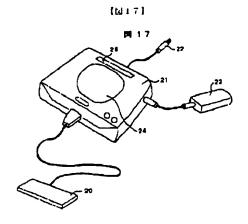


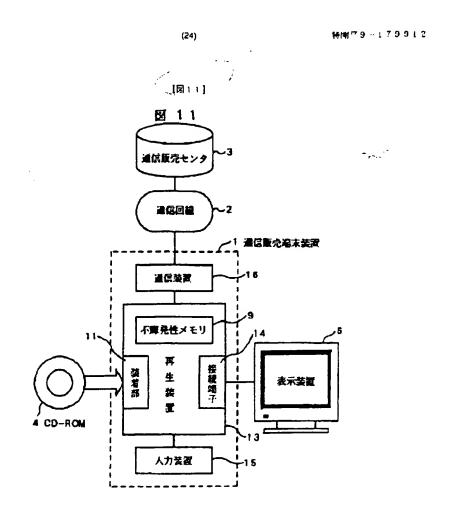


(23)

特別水9-179912



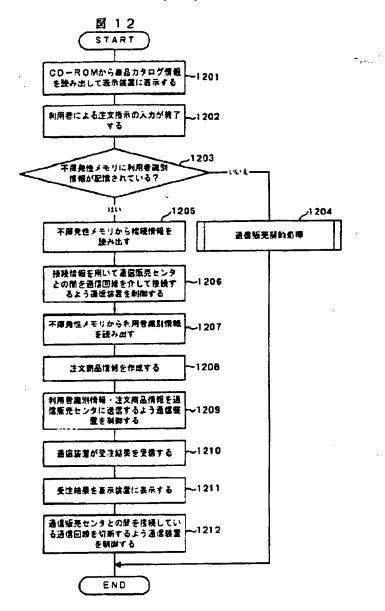




(25)

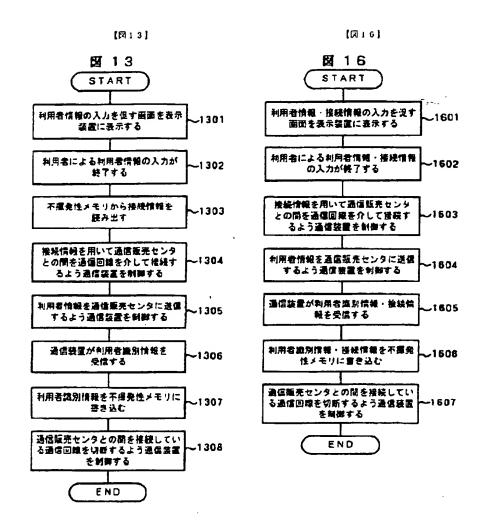
特別平9 179912





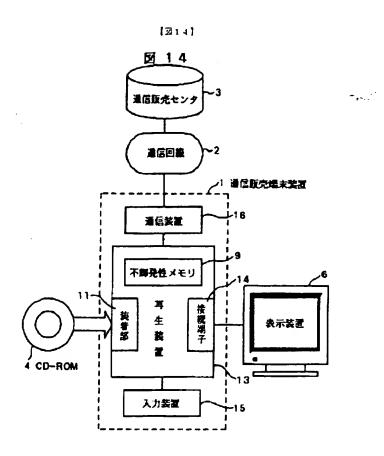
特開平9 179912





(27)

特勝平9-179912



(28)

特別平9-179912



